

お知らせ

このたびは、パナソニック編集コントローラAG-A800を
お求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にAG-A800の取扱説明書と合わせて本書をよくお読みください。AG-A800を広く活用して
いただくために、以下の項目を追加および変更させていただきます。

参照ページ

- スローモーション編集機能…………… 2～5 ページ
- JOGモードの操作改善 …………… 6 ページ
- ALL STOP機能の追加 …………… 6 ページ
- CTL編集への対応 …………… 6 ページ
- 編集タイミングの自動設定…………… 6 ページ
- 編集精度の改善…………… 7 ページ
- 編集モード切替方法の改善…………… 7 ページ
- 編集データ入力機能の改善…………… 7 ページ
- 取扱説明書での記載内容の訂正…………… 8～9 ページ

スローモーション編集機能

特 長

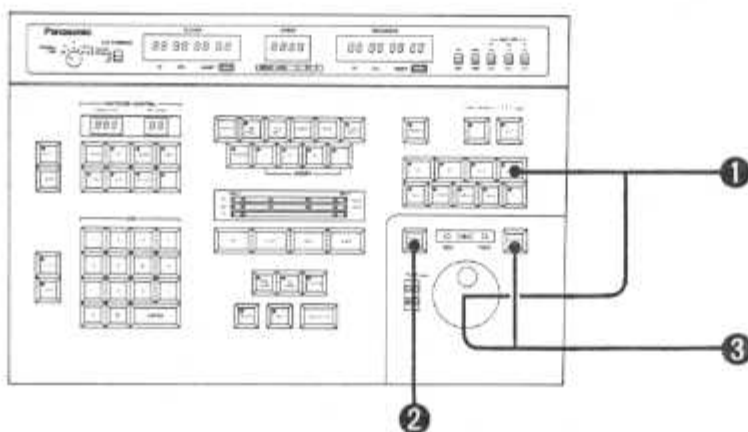
- スチルから2倍速再生および逆方向1倍速までの自動編集ができます。(MII VTR使用の場合)
- 編集中、ダイヤルによって再生スピードを自由に変更できます。
- インサート編集モード、アッセンブル編集モードのどちらとも行うことができます。
- スイッチャを使用して、フェード等の特殊効果をいれることもできます。
- MARK INおよびMARK OUT keyとサーチダイヤルを使って簡単に設定できます。

ご注意点 (追加機能に関する部分のみ)

1. スロー編集するためには、PLAYER側にAT(オートトラッキング)機能付きVTRが必要です。
2. VTRとの接続は、9ピンのリモートケーブルを使用してください。
3. マルチイベント編集およびA/Bロール編集はできません。
4. 外部機器へスロー編集データを出力することはできません。[EDL(編集データリスト)にはレコーダのINおよびOUT点とプレーヤのIN点のデータのみ残ります。]
5. プレビューおよび編集中の速度変化をメモリーする機能はありません。

操作方法

1. RECORDER側VTRのIN点、OUT点登録



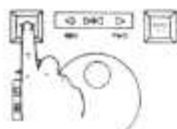
- ① VTR選択部のR keyを押した後、サーチダイヤル(ジョグ/シャトルダイヤル)でRECORDER側VTRの記録開始点(IN点)をさがします。



- ③ 記録終了点(OUT点)を同様の方法でさがし、MARK OUT keyを押します。

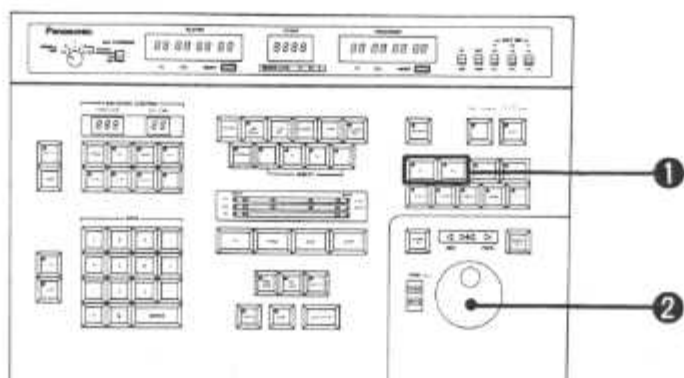


- ② IN点が決まれば、MARK IN keyを押します。



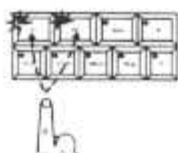
- OUT点は、必ずしも登録する必要はありません。
- 必ず記録側を先に登録し、次に再生側を行ってください。
- IN点およびOUT点の登録はテンキーによっても可能です。

2. PLAYER側のIN点選択



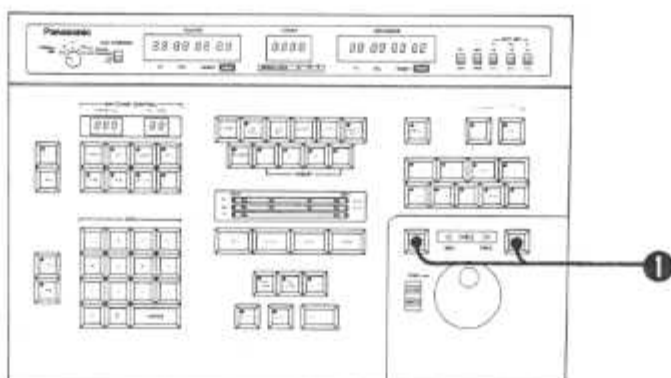
① P1 または P2 key を押して PLAYER 側 VTR を選択します。

② サーチダイヤルを使って再生開始点をさがします。



• 開始点を確定した後は、シャトルモードに切り替えておいてください。

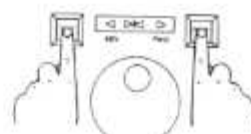
3. スロー編集モードの設定とIN点の登録



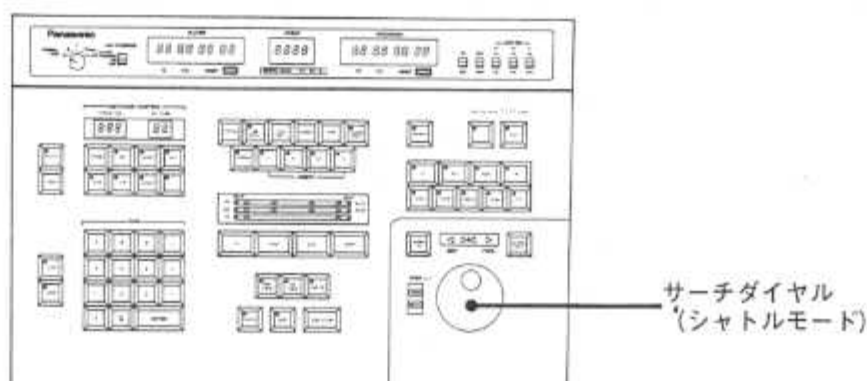
① MARK IN key を押しながら、MARK OUT key を押します。

このとき選択されたPLAYER側の編集点登録ランプ (IN、A OUT、B IN、OUT) の4つ全部が同時に点灯します。

スロー編集モードになっていることを示します。



4. 初速度の設定



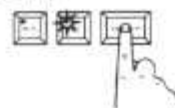
サーチダイヤルを回すとコントロールパネル部のPLAYER側ディスプレイの表示が[SP d:50]、[SP d:200]のように変わります。「50」は標準速度の50% (1/2倍速)、「200」は200% (2倍速)を示します。同時にVTRが表示に対応した速度でテープを再生します。



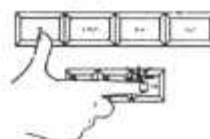
- MII VTRを使用する場合、設定できる速度は以下のようにスチルと正方向8段階、および逆方向6段階です。

スチル	0
正方向	1/32、1/16、1/8、1/4、1/2、1、1.5、2
逆方向	-1/32、-1/16、-1/8、-1/4、-1/2、-1

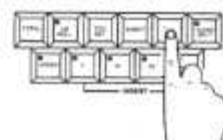
- 本番編集前にテープを止めたい場合は、EDIT STOP keyを押してください。



- GO TO keyとIN keyを同時に押すと、編集開始点を確認することができます。

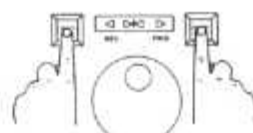


- 「SP d:」の表示が出ていない場合、DUR keyを押すとテープ速度の確認および変更ができます。

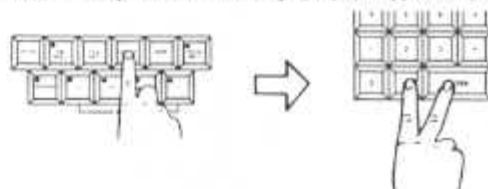


- PLAYER側のIN点を変更する場合は、次の手順で行ってください。

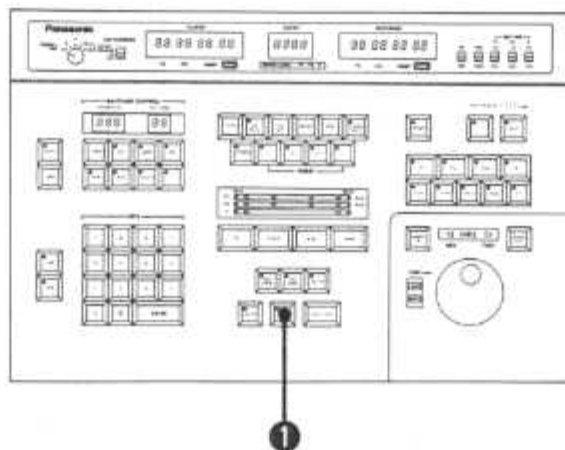
- 1) MARK IN keyのみ押してスロー編集を解除した後、IN点を決め直します。
- 2) 再度MARK IN keyを押しながらMARK OUT keyを押します。



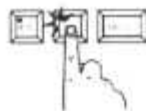
- すべての登録データを消すには、EVENT keyを押した後、C keyとENTER keyを同時に押します。



5. 編集開始



- ① EDIT keyを押すと編集を開始します。



- 編集を止める場合は、EDIT STOP keyを押してください。
- 編集終了後、RECORDERのIN点およびOUT点、PLAYERのIN点のデータが残ります。EVENTが繰り返り上がってスロー編集モードは解除されます。

6. 編集中の再生速度の変更

助走区間を通り過ぎて編集を開始するとブザーが鳴ります。初速度の設定時と同様にサーチダイヤルを回すことによって再生速度を変えることができます。



- 助走区間内でもサーチダイヤルで速度を変更できますが、編集点が大きくなりますのでご注意ください。

7. プレビュー操作

編集開始前にPREVIEW keyを押すことによってリハーサルを行うことができます。プレビュー終了後は、初速度の設定をやり直してから編集を行ってください。

JOGモードの操作性改善

低速での一定速度を保持しやすくするために最大速度を1倍速としました。

ALL STOP機能の追加

EDIT STOP keyにALL STOP機能を追加しました。

EDIT STOP keyを押すと、動作中のVTRはスチルモードになります。ただし、スタンバイオフモードのVTRはスタンバイオフモードを保持します。

編集時、プレビュー時、レビュー時およびGO TO中にEDIT STOP keyを押した場合は従来と同じ動作を行います。

CTL編集への対応(AG-IA81使用時のみ)

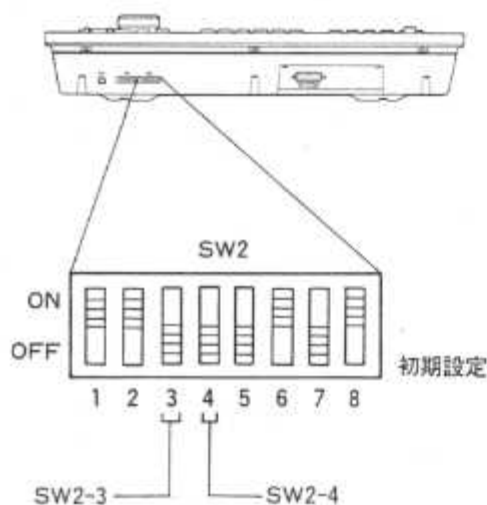
CTLヘッドからテープが離れてCTL値がずれることがないように以下の対応をしました。

- ・サーチスチル時および停止時(READYランプ点灯時)に4分経過するとテープを約1フレーム送り、アンローディングしないようにしました。(AG-7500使用時)
- ・CTLでアッセンブル編集のプレビュー動作時、RECORDERにAG-IA81を使用した場合はIN点でVTRを停止させずに、再生モードのままE-Eモードになるようにしました。TC(タイムコード信号)で編集する場合は、従来と同じくRECORDERはIN点で停止します。

編集タイミングの自動設定(9PリモートVTR使用時のみ)

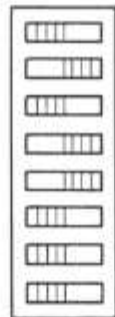
コントロールパネル部

I/Fユニット内部



SW1 (SW501)

OFF ON



タイミング	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8
SW1-5	0	0	0	0	1	1	1	1
SW1-6	0	0	1	1	0	0	1	1
SW1-7	0	1	0	1	0	1	0	1

0 → 「OFF」、1 → 「ON」

9PリモートVTRの編集タイミングは従来I/Fユニット内部のDIPスイッチ(SW501-5,6,7)で設定していました。

今回は9P通信の中でデバイスタイプを返してくるVTRに対しては、編集タイミングの設定は自動でできるようになりました。

- ・この機能を使用するときは、コントロールパネル部のDIPスイッチSW2-3をOFFに、SW2-4をOFFに設定してください。

また、自動判別できるVTRは以下のものです。

AU-650、AU-660、AU-65、AU-60、AG-7750

使用するVTRによってダイヤルセットアップメニュー「9P DEVICE TYPE SELECT」の設定を変更する必要があります。MII VTRの場合は「M2 ID」に、S-VHS VTRの場合は「S-VHS ID」に設定してください。

なお、デバイスタイプが“1000”のVTRで編集タイミングが-1フレーム以外のもの(AU-600、AU-610、AU-510等)は以下の設定を行ってください。

- ・コントロールパネル部のDIPスイッチSW2-3をONに、SW2-4をOFFに設定します。
- ・I/Fユニット部のDIPスイッチSW501-5、6、7で編集タイミングを設定します。

従来通り、編集タイミングをマニュアルで設定する場合、DIPスイッチSW2-4をONに設定してください。

DIPスイッチの機能は以下の通りです。

- ・SW2-4(コントロールパネル部の後面):編集タイミングの自動/マニュアル設定

DIPスイッチの設定	編集タイミングモード	内容
ON	マニュアル	編集タイミングは、DIPスイッチ(SW501-5,6,7)で設定した値で行われます。
*OFF	自動	編集タイミングは、デバイスタイプによって自動的に設定されます。I/Fユニット内のDIPスイッチ(SW501-5,6,7)の設定は無視されます。

(*印は工場出荷時の設定です。)

- ・SW2-3(コントロールパネル部の後面):デバイスタイプが“1000”であるときの設定(SW2-4がOFFのとき有効)

DIPスイッチの設定	編集タイミングモード	内容
ON	指定値	デバイスタイプが“1000”のとき、編集タイミングはDIPスイッチ(SW501-5,6,7)の設定した値で行われます。
*OFF	ノーマル	デバイスタイプが“1000”のとき、編集タイミングは-1フレームに設定されます。

(*印は工場出荷時の設定です。)

編集精度の改善(AG-7500、6500シリーズのVTRのみ)

AG-7500、AG-6500シリーズのVTRは、スチル時にヘッドが切換わることにより、再生中に読み込んでいるタイムコードの値により1フレーム先の画像がモニターに出ます。以下のような変更を行いましたので、編集点登録を行う際、スチルモードのモニタ画面にノイズバーが出ていない状態でMARK IN、MARK OUTの操作を行うことで編集点のずれを最小にすることができます。

AG-IA81を使用して機種切換えスイッチがAG-7500またはAG-6500の設定時には次のような動作を行います。

- ・MARK INおよびMARK OUT keyを押すと表示されている現在のテープ位置より1フレーム大きな値が登録されます。
- ・GO TO keyを使うと1フレーム少ないタイムコード値で停止します。

編集モード(アッセンブリ、インサート)切換方法の改善

編集モード(アッセンブリ、インサート)の切換えは、編集以外のモードでは直接キーを押すことによって可能でした。今回からは間違えて変更することのないように、現在ランプが点灯中のキーを押して消灯させて、編集モードを取り消してからでないと変更できないようにしました。ただし、インサート編集時の各モード(V、A1、A2、TC)は、オーディオスプリット登録時の編集実行中以外で変更することができます。

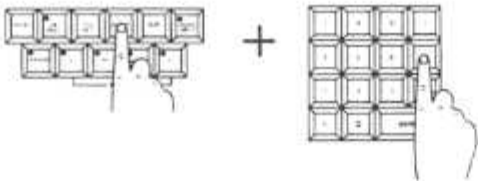

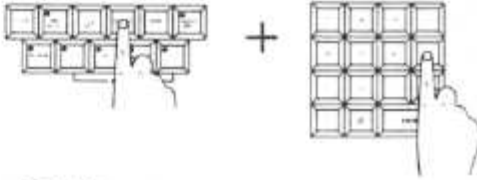

アッセンブリまたはインサート編集モードでもう一方の編集モードキーを押したときのエラーコードは“03-11”です。

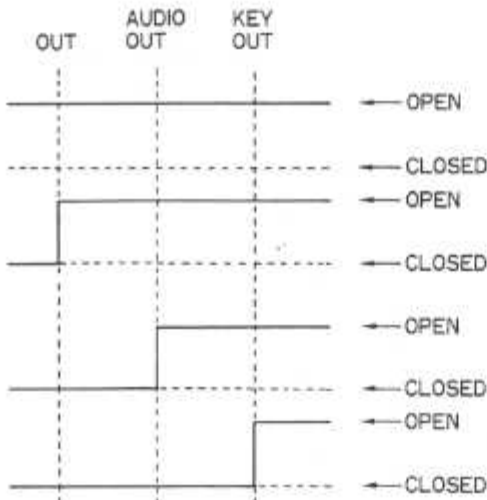
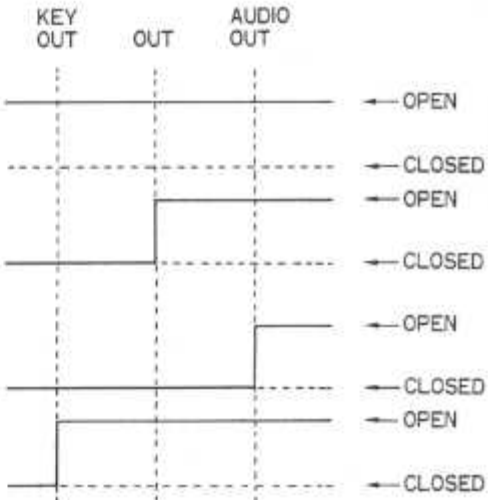
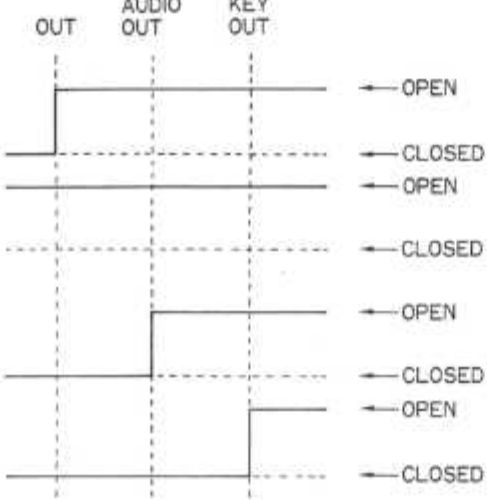
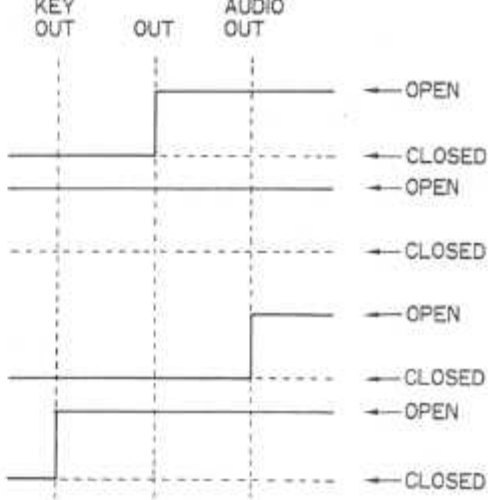
編集データ入力機能の改善

EDL DATA LOAD時に、-(マイナス)の編集データを受け付けるように改善しました。

取扱説明書での記載内容の訂正

取扱説明書の内容に一部誤りがありましたのでお詫びとともに追加・訂正させていただきます。次に示す正誤表を取扱説明書と合わせて読んであとで本機をご使用ください。

ページ	誤	正
11ページ 中段右側	⑥ EDIT TIMING 切換スイッチ 編集のタイミングをフレーム単位で調整します。 (60ページ参照)	⑥ EDIT TIMING 切換スイッチ 編集時のプリロール位置をフレーム単位で調整します。 (80ページ参照)
36ページ 下段左側	<ご注意> ・POWER ON時、EVENT No. ディスプレイにはEVENT No. 10が表示されます。	<ご注意> ・POWER ON時、EVENT No. ディスプレイにはEVENT No. 10が表示されます。このとき、上記の操作を行いますとEVENT No. 10に編集点が登録されていないためにブザーが3回鳴りますが、操作上の間違いではありません。
36ページ 中下段 右側	⑥ 以上の操作を繰り返して、連続自動編集したいイベントの編集データをすべて登録します。 <ご注意> 2番目以降に登録されるイベントのRECORDER側の編集IN点は、自動的に1つ前のイベントのRECORDER側の編集OUT点が登録されます。 ・EVENT No. の設定は①～④の操作以外に以下のような方法もあります。 (1) EVENT keyを押しながら+keyを押します。 ただし現在のEVENTの編集点が登録されていることを確認してください。  (2) 実行前のEVENT No. より大きい10の倍数の最小値がディスプレイ表示され、EVENTが設定されます。  ・現在のEVENTの編集点が登録されていない場合は、+keyによるEVENT No. の設定はできません。 ・登録可能なEVENT No. は1から9899までです。	⑥ (1) EVENT keyを押しながら+keyを押します。 ただし現在のEVENTの編集点が登録されていることを確認してください。  <ご注意> 2番目以降に登録されるイベントのRECORDER側の編集IN点は、自動的に1つ前のイベントのRECORDER側の編集OUT点が登録されます。 (2) 実行前のEVENT No. より大きい10の倍数の最小値がディスプレイ表示され、EVENTが設定されます。  ・現在のEVENTの編集点が登録されていない場合は、+keyによるEVENT No. の設定はできません。 ・登録可能なEVENT No. は1から9899までです。 以上の操作を繰り返して、連続自動編集したいイベントの編集データをすべて登録します。
37ページ 中段右側	(5) EVENT keyを押します。	(5) ENTER keyを押します。

ページ	誤	正
52ページ 上段	編集コントローラAG-A800では、オーディオの効果を、ビデオとは独立に設定することが可能です。登録の方法はビデオと同じですが、オーディオの特殊効果はディゾルブのみです。	編集コントローラAG-A800では、ABロール編集のAB点でオーディオスプリットの効果を、ビデオとは独立に設定することが可能です。登録の方法はビデオと同じですが、オーディオの特殊効果はディゾルブのみです。またアッセンブル編集も可能です。
52ページ 中段	❶ すべての編集点の登録を行います。 編集点の登録操作は22ページを参照ください。	❶ すべての編集点の登録を行います。 編集点の登録操作は22ページを参照ください。 さらにAB点のオーディオスプリットの登録も行ってください。(ビデオとオーディオが同じ値でも登録を行ってください。)(39ページ参照)
73ページ 中段右側		
73ページ 下段右側	<p>• ABロール編集モード</p> 	<p>• ABロール編集モード</p> 
74ページ 上段	操作手続きに誤りが起った場合、ブザーを3回鳴らします。TOTAL keyを押すと、PLAYER側ディスプレイに次のメッセージを表示します。	操作手続きに誤りがあったり、編集点の登録が不完全な場合や、スイッチャ(AG-SW800)を接続していないときなどはブザーを3回鳴らします。TOTAL keyを押すと、PLAYER側ディスプレイに次のメッセージを表示します。